

日本看護技術学会第14回学術集会 移動動作評価班交流セッション報告書



日本看護技術学会第14回学術集会交流セッションⅡ

移動・移乗動作のガイドライン

移動動作評価グループ

西田直子¹ 水戸優子² 國澤尚子³ 平田美和⁴
若村智子⁵ 小林由実² 鈴木ひとみ¹
富田川智志⁶ 鈴木和代⁷

1 京都学園大学、2 神奈川県立保健福祉大学、
3 医療生協さいたま地域社会と健康研究所、4 東京医療保健大学、
5 京都大学、6 京都女子大学、7 兵庫県立大学大学院、

日 時：2015年10月17日（土）
会 場：ひめぎんホール（愛媛県）

技術研究成果検討委員会移動動作評価評価班主催の交流セッションは、今年で8回目となった。今年度は、「移動・移乗動作のガイドラインに基づく、道具を使用した安全安楽な方法の検討」をテーマとして作成した「移動・移乗動作のガイドライン(案)DVD」を、交流セッションの参加者に視聴してもらい、その内容について、ディスカッションを行う交流セッションを開催した。

移動・移乗動作のガイドライン(案)作成の背景

- ◆ 平成25年厚生労働省労働基準局「職場における腰痛予防対策指針」が改訂され、特に「福祉・医療分野等における介護・看護作業」の内容が変更された。平成26年に中央労働災害防止協会から医療保健業における腰痛予防対策研修会テキスト「医療保健業の労働災害防止(看護従事者の腰痛予防対策)」と「社会福祉施設の労働災害防止(介護従事者の腰痛予防対策)」が作成された。この中での主なポイントは、原則、「人力による人の抱え上げは行わせないこと(ノーリフティング原則)」を導入したことであり、また補助用具の使用、組織的取り組み、対象者別の作業標準を作成すること等である。
- ◆ 腰痛予防対策指針に則った移動・移乗動作について、これまでの取り組みの成果も含めて検討したところ、移動・移乗の介助を要する対象者の条件、具体的な生活場面によって補助用具の種類や使用方法が本来は異なるべきであるが、その例示が不足していることに気が付いた。そこで我々は対象者の条件別の典型例を明らかにし、そこで、具体的な生活場面別に、移動・移乗補助用具の選択と動作のポイントを示しつつ一連の介助方法をビデオで撮影し、DVDを作成した。作成したDVDを試案として、本交流セッションにて視聴していただき、参加者から意見をもらった。

交流セッションの目的

- ◆対象の条件によって移動補助用具の活用が異なり、具体的な生活場面や状況でその補助用具の使用法の例示が不足している。
- ◆教育活動を行う上で不十分である。



- 生活場面での移動動作についてビデオで撮影し、その移動動作時の移動補助用具の選択と動作のポイントを確認したい。
- 今回は、7つの移動場面について検討する。

★移動・移乗補助用具を用いた事例の動画(DVD)の紹介

- 1) ベッドとストレッチャー移乗(スライディングシートとスライディングボード使用)
- 2) ベッドと車いす移乗(臥位から長座位・端座位、ベッドと車いす、床走行式リフト使用)
- 3) ベッドとポータブルトイレ移乗
- 4) ベッドと車いすトイレ移乗
- 5) ベッド上での上下移動
- 6) ベッド上での水平移動(左右移動)

★DVDを視聴しての会場とのディスカッション

スライディングシート



＜シートタイプ＞

品名：すこやかシート(すこやか制作)

http://www.eurojapan.com.jp/jp/web/06_topics/index.html



＜筒状タイプ＞

品名：トレイジー(TORAY)

<http://www.toray.jp/uniform/products/torayeasy.html>

スライディングボード



品名：イーググライド(パラマウントベッド)

<http://www.paramount.co.jp/product/detail/index/20/2574>



品名：イージーモーション(モルテン)

<http://www.molten.co.jp/health/product/bed/05.html>

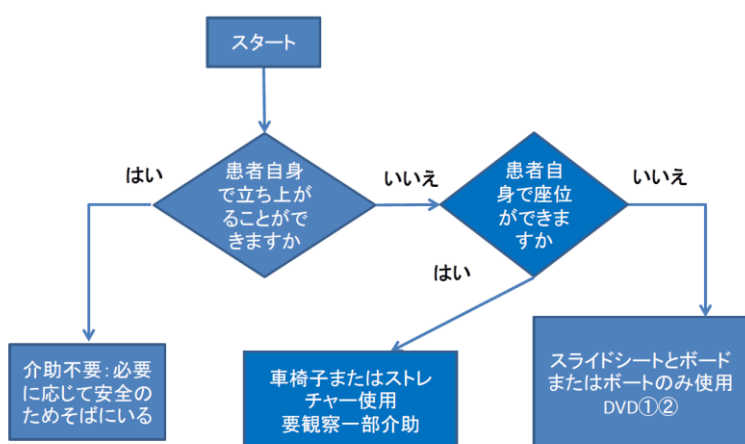


品名：マスターグライド(LAG)

<http://ing-products.com/transferring/461.html>

様々な移動用具が紹介されました(許可を得て掲載しております)

図1 ベッド⇄ストレッチャー移乗



移動動作評価班で検討された、移動動作のアセスメントフローチャートが紹介されました。

「ノーリフティング原則」の導入した 移動・移乗動作をしましょう



ご清聴ありがとうございました。
多くのご意見をお寄せください。

フローチャート作成の参考文献)

前田千穂他訳(2010). Audrey L. Nelson編.Safe Patient Handling and Movement
～患者の安全な介助と移動～. パシフィックサブリイ.

まとめ

今回のDVD(案)について多くのご意見や質問をいただきありがとうございました。来年度は交流セッションで得られたご意見や調査結果をもとに検討していきたい。

完成した動画は、日本看護技術学会ホームページに入れていく予定です。